

特集 1 小泉改革

2001 年

- 6.30 日本の「改革」評価。日米首脳会談、対話強化へ共同声明。経済協議立ち上げ。京都議定書、説得へ努力継続 7. 1 AM1
NM1,2
7. 1 不可避の改革、どう実行。小泉「構造改革」の課題、竹中・経財担当相と3氏座談会。八代尚宏氏、失業・倒産備えを。木村剛氏、優先順位具体的に。神野直彦氏、機会平等の保障を。竹中氏、豊かさ維持の痛み 7. 1 AM19
7. 1 公的部門改革を最優先。首相、日米首脳会談終え会見。郵政民営化など例示 7. 1
AM1,2,4,8
7. 2 (! 省庁再編6カ月 - 上 -) 「政治主導」どこまで。首相自から政策を発言。諮問会議が第一歩に 7. 2 AM13
7. 2 構造改革、不安と期待交錯。日銀短観、2期連続悪化。米景気も見方割れる 7. 3 AM11
7. 3 小泉改革、景気にも細心。経済政策 / 竹中経財相「安全網を最優先」。財政・特定財源 / 塩川財務相「5カ年計画を廃止」(「どうする日本どうする関西」日経新聞シンポジウム) 7. 3 NM3
7. 3 内閣支持率84.5%。自民支持43%、無党派上回る。読売新聞世論調査 7. 3 YM1,2
7. 3 「郵政見直し」明記せず。自民が参院選追加公約、首相の主張とズレ 7. 3 SE2
7. 3 自民、参院選へ重点政策、「小泉改革」ぼかす。郵政民営化の語句削除、道路財源でも表現後退 7. 4 YM1,2
MM2 AM4
7. 4 首相特別枠の増額を検討。2002年度予算で財務相 7. 5 NM5
AM11 MM1
7. 4 首相、景気配慮の姿勢強める。米欧歴訪で各国首脳懸念。改革推進とバランス 7. 5 NM5
7. 5 (追跡・小泉改革) 「首相主導」役所が便乗。「直属機関」本部・会議に熱い視線。予算獲得へ旧案続々 7. 5 AM2
7. 5 小泉「改革」世論調査 / 「痛み」への懸念強く。交付税削減・医療費抑制不支持3割。特殊法人改革、8割「進めるべきだ」 7. 5 MM1
7. 5 町村会が「反小泉集会」。交付税削減など反対を決議。国会議員にクギ刺す 7. 6 MM3 YM2
7. 6 (改革を問う) 概算要求基準で財政諮問会議 / 具体的方向どこまで。問われる首相真価 7. 6 AM11
7. 6 石油公団廃止指示、改革のシンボルに。首相思惑、政府・与党内に異論も 7. 7 YM2
7. 7 「改革」が招く泥沼デフレ / 金子勝慶応大学教授 7. 7 AM17
7. 7 非効率性は投融資にメス。石油公団廃止、首相が明言。開発、民間に技術移転 7. 7 NM5
MM1,11 AM13
7. 8 郵便2003年全面開放。首相指示、年末までに具体策 7. 8 NM1
- 7.10 (時代を読む) 佐々木毅・東大学長 / 内閣主導へ政官関係整理を 7.10 TM1
- 7.10 小泉改革、民主支持層「賛成」6割。公明支持層は慎重。朝日新聞世論調査 7.10 AM4
- 7.10 参院選世論調査 / 「自民投票」39%に復調。小泉内閣「支持」は89% (東京新聞) 7.10 TM1
- 7.10 小泉改革 / 財政再建。恐れず、ひるまず、断行を (社説) 7.10 MM5
- 7.10 小泉首相、石油公団「廃止」を再確認。経産相に検討指示 7.11 MM3
- 7.10 郵政公社化法案に民間の全面参入明記。首相が意向 7.11 MM3
- 7.11 石油公団廃止 / 政治主導で道筋を具体化せよ (社説) 7.11 YM3
- 7.11 参院選あす公示、「小泉改革」が争点。「痛み」6割容認。「自民では無理」も6割 7.11 TM1,5
- 7.12 「構造改革」評価にねじれ。参院選公示。与党内に慎重論も。民・由、積極姿勢。共・社は対決色鮮明 7.12 YE4
- 7.13 小泉路線「支持」、野党でも23%。朝日新聞、候補者にアンケート 7.13 AM2
- 7.13 2002年度予算編成、首相主導、全般に。「特別枠」改廃方針。与党枠は維持 7.13 AM3
- 7.13 首相公選制の懇談会初会合。1年後の報告書 7.13 AE2 NE2
- 7.13 この国はどこへ行こうとしているのか / 直言・生活者の視点から / 東京大学教授・神野直彦さん。人間は明日のために今日を生きようとする。明日のビジョンがなければ改革の痛みを耐えられない 7.13 ME2

小泉改革

2001年

7.14	道路特定財源、一部を一般化。小泉首相強調	7.14	MM2	TM1
7.16	(“01参院選)見えない小泉「地域」改革。公共事業も争点かすむ。具体策は選挙後に先送り	7.15	NM30,31	
7.17	参院選序盤、小泉改革評価6割台。11選挙区で朝日新聞世論調査	7.17	AM4	
7.17	規制改革会議、中間報告持ち越し。「医療」巡り厚生労働省反発。株式会社参入が懸案。省庁合意ない項目も盛る方針。小泉改革、印象付ける	7.18	MM2	
7.18	「痛み伴う改革」反対多数/参院選候補者アンケート。医療費抑制「反対54%」、地方交付税削減も「46%」。有権者を意識、腰引く	7.18	MM1,2,3	
7.18	「3年で5万人補助教員導入」。小泉首相、雇用対策で	7.18	AE2	NE1
7.18	マイナス成長必至...それでも改革断行を。経済同友会、内閣を「評価」	7.19	AM10	
7.19	地方は抵抗より対案を(社説)	7.19	NM2	
7.20	景気回復、構造改革、両立の道狭く。生産・輸出の減速、惨敗「橋本」時より急。「政策ぶれ避けたい」。政府、二の舞警戒(改革を問う)	7.20	AM11	
7.20	内閣支持率、8ポイント初の減、70.4%。改革の「痛み」に不安。時事通信世論調査	7.20	TM1	SM3
7.20	構造改革/経済失墜なら消費税下げ。八田達夫・東大教授(私の視点)	7.20	AM15	
7.20	(2001参院選/データでチェック)地方交付税、見直しに町村部反発。行政サービス、都市と格差拡大	7.20	TM7	
7.20	「小泉改革」を国際公約。G7宣言、景気回復へ協調。具体策打ち出せず。グローバル化批判に配慮。ジェノバ・サミット	7.21	AM1,9	
7.21	構造改革/豊かさ分かち合う方策も。橋本俊詔・京大教授	7.21	AM11	
7.23	公益法人補助金、2002年度から削減。首相が指示	7.24	NM2	
7.24	小泉支持72%。読売新聞世論調査	7.24	YM2	
7.24	小泉改革「評価」63%。「評価しない」12%。「自民勝ってほしい」46%。追い風、自民に限らず。受け皿、野党も。参院選・朝日新聞世論調査	7.24	AM4	
7.24	小泉内閣支持69%。「参院選は景気重視」5割超。日経新聞世論調査	7.24	NM1	
7.24	2002年度予算、概算要求「特別枠」を廃止。諮問会議など方針「改革分野」に重点	7.25	YM1	
7.24	規制緩和「小泉流」に。「トップダウン」宮内議長が決意	7.25	AM10	
7.27	道路の5兆円を何千億かほかに。特定財源見直しで首相	7.28	AM4	
7.27	自民、亀井氏、竹中氏主導の構造改革批判	7.28	AM4	
7.28	(改革を問う)郵政「分割手法」が焦点。3事業懇談会、8月論議本格化。民営化是非から一気	7.28	AM8	
7.29	小泉旋風、自民大勝。参院選挙、投票率約56%。参院与党、過半数大幅超え。構造改革、推進に弾み。首相続投へ、自民総裁選	7.30	AM1,7	
7.30	まず「予算」「特殊法人」。首相、改革メニュー具体化へ	7.30	MM1	
7.30	自民大勝で改造見送り。現内閣で改革実行。参院選、自民の当選64人に	7.30	ME1	
7.30	参院選当選者調査、交付税削減、36%反対。自民でも賛成を上回る	7.30	AE1,2,3	ME2
7.30	首相、改革断行へ決意。「最初の難関越えた」。参院選大勝、政権運営に自信	7.30	NE1	
7.31	予算編成/改革の成否が試される(社説)	7.31	AM2	
7.31	参院選後の小泉改革/「官」に脱皮促し政策断行。政権目標へ総力を。第三者の視点で成果点検。21世紀政策研究所理事長・田中直毅(経済教室)	7.31	NM25	
7.31	特殊・認可法人見直し「原則、廃止か民営化」。首相、石原行革相に指示	8.1	MM3	
7.31	特殊法人補助金、2002年度、1兆円削減。首相、大幅前倒しを指示	8.1	AM1	NM1
8.2	(!小泉改革どこへ-下-)東大教授・神野直彦氏/批判封じる風潮が心配。国家主義の流れ加速か	8.2	AM13	
8.2	(どうする小泉改革/閣僚に聞く-3-)石原伸晃行政改革担当相/選挙の勢いで一気呵成。特殊法人、事業からメス	8.2	NM1	
8.2	自民政調会合で「小泉改革」批判。参院選終わって、「抵抗勢力」逆襲。党了承の国債抑制にも反発(2001政局スコープ)	8.3	TM2	

2001年

8. 2	法案の作成は審議会抜きで。日経センター理事長「構造改革、進まない」	8. 3 NM5
8. 3	小泉改革を問う / 道路財源を突破口に公共事業改革を (社説)	8. 3 NM2
8. 3	構造改革、先行プログラム策定。竹中担当相、臨時国会前に	8. 4 MM11
8. 4	内閣支持69%に下降。改革に「不安」52%。「信頼」は37%にとどまる。首相靖国参拝、「慎重に」増え65%。中韓の批判「理解」55%。朝日新聞世論調査	8. 4 AM1,4
8. 4	(改革を問う) 配分硬直化、打開なるか。2002年度予算編成「特別枠」2倍に	8. 4 AM9
8. 4	「改革」が試される要求基準 (社説)	8. 4 NM2
8. 5	小泉改革を問う / 税源移譲で地方に個性の発揮を促せ (社説)	8. 5 NM2
8. 6	中曽根氏、小泉改革「腕前試される」、首相のエール。「血だるまになり行革を」、石原担当相を激励。土光臨調20周年記念会合で	8. 7 MM5 NM2
8. 7	小泉改革を問う / 郵政民営化の早期実現を目指せ (社説)	8. 7 NM2
8. 7	改革方針沿わぬ概算要求。首相が公表を指示。石原担当相に	8. 7 TE2 AE2 NE1
8. 7	公共事業・ODA10%削減、2002年度予算概算要求大枠。「歳出5兆円減額」。小泉首相、重点7分野に2兆円。財務省試算比	8. 8 NM1,3 YM3 MM1,9 AM1,2
8. 7	小泉内閣「改革実現する」67%。支持率低下、78%に。読売新聞世論調査	9. 7 YM1,3
8. 8	小泉改革を問う / 安心と財政維持が可能な社会保障を (社説)	8. 8 NM2
8. 8	(改革を問う) 危うさはらむ路線転換。概算要求基準固まる。課題は「抜け道封じ」	8. 8 AM9
8. 8	公益法人合わせて兆円削減。特殊法人「廃止を前提に」。小泉純一郎首相	8. 9 NM2
8. 8	道路公団「民営化できれば良い」。首相、改革案の作成指示	8. 9 AM3 MM2
8. 8	重点7分野、首相自ら「2兆円増」。経済諮問会議議事録要旨公表、財務省の説明批判	8. 9 NM5 AM3
8. 9	(改革を問う) 特殊法人改革 / 「小泉流」へ抵抗したたか。日本道路公団、「財務優良」に疑問符も。住宅金融公庫、税金あつての公庫融資。石油公団、特会財源5000億円、行方は	8. 9 AM9
8. 9	特殊法人の見直し、廃止か民営化が前提。小泉首相強調	8.10 MM3
8. 9	小泉政権初の予算編成、「緊縮型」の前途多難。概算要求基準決定	8.10 AM3
8. 9	各省庁、対応にあえぐ。概算要求基準、削減対象が山積み。国交、道路財源、扱いを注視。厚労、医療改革、調整困難に。外務、ODA以外も苦しく。財務、やり繰り大変	8.10 MM9 NM5
8.10	(改革を問う) 民間活力アップなるか。緊縮型の2002年度予算。体制・手法は手探り。省庁・族議員の抵抗必至	8.10 AM9
8.10	(追跡 / 小泉改革) レッテル覚悟、業界必死。「どこが骨太」反論開始。「地方守るのが議員」。独自案掲げ医師会。野党にも「抵抗勢力」	8.10 AM3
8.10	小泉総裁を無投票再選、自民党	8.10 AE1
8.10	首相公選制の具体案求める。首相が諮問機関に	8.11 TM2
8.10	小泉改革、9月ヤマ場。霞が関の抵抗必至。臨時国会、攻防の場に	8.11 NM3
8.11	特殊法人改革 / 首相は本気で指導力を (社説)	8.11 AM2
8.11	特殊法人 / 大なたで抵抗を排せ (社説)	8.11 TM4
8.11	(にっぽん再生) 特殊法人事業見直し案 / 断行VS抵抗、攻防本格化。省庁と族議員、一気に反発「たたかれても頑張れ」、首相は行革相にゲキ	8.11 YM3
8.12	小泉改革を問う / 特殊法人は名実とも廃止・民営化に (社説)	8.12 NM2
8.12	特殊法人改革 / 「抵抗勢力」には官邸主導で (社説)	8.12 MM5
8.12	証券税制改正なぜ進まない? 動かぬ自民税調が壁。長年の歴史、権威は「聖域」。首相といえども権限なし。「構造改革の対象だ」党内に不満も (にっぽん再生)	8.12 YM13
8.12	概算要求基準、攻防様変わり。民の発想、官の論理に風穴。経済財政諮問会議、公共事業削減を主導。慣例にこだわり、意地にじむ財務省	8.12 NM5
8.13	首相、靖国を前倒し参拝。「内外の状況受け止め決断」。談話発表、中韓と協議の意向	8.14 AM1
8.14	(官業を斬る / 特殊法人攻防前哨戦 - 1 -) 廃止という名の延命策。「事業は温存」譲らぬ官	8.14 NM5
8.14	日銀、量的緩和拡大。デフレ阻止、決意示す。構造改革を支援	8.15 MM1 AM1,6,7 NM1

小泉改革

2001年

- 8.16 (官業を斬る/特殊法人攻防前哨戦 - 3 -)強まる抵抗の足音/自民内、徐々に「本音」 8.16 NM5
- 8.16 小泉内閣支持続落65.3%。時事通信世論調査『靖国』『株価』影響か 8.17 TM2
- 8.20 靖国13日参拝、65%支持。「中韓に配慮」評価。首相批判は28%止まり。内閣支持率 8.20 MM1,2
81%に。毎日新聞世論調査
- 8.21 構造改革の成功条件/手順を重視、まず銀行改革。産業の再編後押し。次に郵貯、財政再建 8.21 NM25
は最後に。スタンフォード大学フェロー・ロバート・マドスン(経済教室)
- 8.22 及び腰の「官」に首相サイド断行。評議会、周な理論武装も 8.23 TM2
- 8.23 首相、インフレ目標否定。失業率上昇『やむを得ぬ』 8.24 TM1
- 8.24 郵政3事業民営化首相懇vs族議員、主張真つ向対立。郵便集配、全面開放か限定か 8.24 SE1
- 8.25 特殊法人改革、さや当て水面下で。首相、党外との協力も。橋本派、まず事業精査を。行革 8.25 NM2
相、調整に腐心
- 8.28 (「看板」大臣/改革の秋へ)石原伸晃・行政改革担当相/首相と違う手堅い手法。なれ 8.28 AM4
るかサンドバッグ
- 8.28 首相、補正予算着手を指示 8.28 AE1
- 8.28 住宅公庫と都市整備公団、首相、民営化を指示 8.28 YE1 NE1
AE1
- 8.28 官邸主導へ専門チーム。「経済・産業」座長に田中秀征氏、「外交」は岡本行夫氏 8.29 NM1
- 8.28 経済財政諮問会議、新規なく“焼き直し”。構造改革、6閣僚からヒアリング 8.29 MM3,9
AM11
- 8.28 首相、補正編成を決断。雇用に重点、歳出2-3兆円 8.29 NM1,2,3
MM1
- 8.29 どうする財政金融政策/デフレ下の構造改革。三和総研調査部長・嶋中雄二氏/量的緩和進 8.29 AM15
め市場に活力、補正で「都市再生」前倒し。慶大教授・金子勝氏/財政資金のゆがみを正せ。
不良債権処理に公的資金
- 8.29 首相主導へ政策チーム。経済・産業、外交の2分野で設置。座長、田中秀征・岡本行夫氏 8.29 AE1
- 8.29 特殊法人改革、首相、党に発案提示。行革本部太田氏に。自覚を促す狙い 8.30 AM4
- 8.29 民営化反対ならトップ交代。特殊法人改革で首相、不転の決意 8.30 TM2
- 8.30 「小泉改革型」概算要求、族議員、素通り。関心、「来年」より目先の「補正」。早々摘ん 8.30 AM3 MM5
だ抵抗の芽。本格攻防は年末に(時時刻刻)
- 8.30 特殊法人改革、首相、人事権示し決意。「民営化反対なら私にも考え」 8.30 AE2
- 8.30 補正予算、国債30兆円超も。与党一致、首相と食い違い。竹中担当相も同調 8.31 SM1
- 8.30 特殊法人民営化案示しなさい。自民全議員に。改革“踏み絵”。党行革本部、出さない人は 8.31 TM3
抵抗勢力!?
- 8.31 (「看板」大臣/改革の秋)竹中平蔵・経済財政担当相/次第に増す霞が関色。目立つ分 8.31 AM4
風当たりも
- 8.31 国債30兆円枠、政府・与党、溝広がる。与党政策責任者会議「必要なら超えても」 8.31 AM3
- 8.31 2002年度予算概算要求/硬直、抵抗、「改革断行」険しい道。公共事業のシェア不動。看板 9. 1 YM3
替えて特別要求枠。首相「改革は順調」
- 8.31 (小泉改革の行方/特殊法人見直し)国費削減、目標の半分。概算要求、法人「2割減」守らず 9. 1 MM3
- 8.31 特殊法人トップ、首相「改革抵抗なら解任」 9. 1 NM2
9. 1 「不十分な役所あれば直接指示」。特殊法人改革で首相が決意強調 9. 2 NM2 AM4
9. 2 点検、使えない規制緩和。小泉改革成功のための反面教師 9. 2 NM15
9. 2 改革優先項目、14日明示、財務相。工程表の内容先取り 9. 3 NM3
9. 3 特殊法人廃止はできるものから。小泉首相が強調 9. 3 TE1
9. 3 特殊法人民営化、相次ぎ拒否、各省回答。全中は受け入れ 9. 4 NM1
TM1,2 AM2 MM2
9. 4 特殊法人改革、攻防本格化へ。首相、抵抗見越し先手。閣僚動かし逃げ道封じ。霞が関、存続 9. 4 NM2 YM3
へ理論武装。廃止・民営化「不況下に無理」
9. 4 国債発行30兆円枠、与党内、強まる不満。「今年度は補正優先」。首相と対立激化も 9. 4 NM5

2001年

9. 4 特殊法人改革 / 「廃止・民営化」堅持を(社説) 9. 4 AM2
9. 4 特殊・認可法人改革、省庁の前向き取り組み促す。山崎自民幹事長 9. 4 TE2
9. 4 国債30兆円枠、補正も原則堅持、でも税収みて…。首相、柔軟対応に含み 9. 5 NM1 TM2
AM2
9. 4 自民行革本部、全議員から「改革案」募集。本格論議、首相手法に反論も 9. 5 YM4 MM3
NM2
9. 4 特殊法人改革、攻防本格化、首相VS省庁。首相、「大物法人」に照準、廃止・民営化へ攻勢。省庁、国交省抵抗に追従、横並びで組織防衛(核心) 9. 5 TM3
9. 5 「工程表」作り、柱に苦慮。経済財政諮問会議、11日に中間案。最終案公表、下旬にずれ込み 9. 5 NM1
AM10 YM2
9. 5 「小泉首相と談論する会」座長、田中秀征氏に聞く。改革の痛み、まず行政から。退場すべき企業、支援せず。一時的財政出動ありうる。30兆円枠はあくまで政策の手段。信頼回復に政党助成金返上も一案 9. 5 AM4
9. 5 特殊法人改革 / 官僚の頑強な抵抗は目に余る(社説) 9. 5 YM3
9. 5 特殊法人 / 人事を含む政治力を(社説) 9. 5 TM4
9. 5 特殊法人改革 / 首相の真価が問われている(社説) 9. 5 MM5
9. 6 特殊法人改革に異論、自民党江藤・亀井派 9. 7 MM5
9. 7 首相が補正指示。雇用対策を柱に。国債30兆円以内を表明 9. 7 ME1 AE1
NE1
9. 7 首相言及、「NHK肥大化規制を」 9. 8 NM2 TM3
9. 8 「明るい構造改革を」 / 島田晴雄・内閣府特命顧問に聞く。例えば保育料の上限撤廃、雇用530万人増夢じゃない 9. 8 AM4
9. 8 小泉改革に立ちはだかる景気後退(社説) 9. 8 NM2
9. 9 (時代を読む) 佐々木毅東大長 / 小泉改革は絞り込みを 9. 9 TM1
9. 9 (21世紀の視点) 特殊法人改革は「必然」。他人事にせず、国民の手で。五十嵐敬喜法政大教授 9. 9 MM4
9. 9 特殊・認可法人見直し「ゼロ回答」。「時間切れ」を狙う官僚 9. 9 NM5
9. 9 ムーディーズ、日本国債を格下げ方向。構造改革の先を問う 9. 9 NM5
- 9.10 30兆円枠に批判。首相、改めて「堅持」。政府与党連絡会議 9.11 MM2
- 9.10 橋本氏苦言、首相も反論。改革手法めぐり火花 9.11 TM2 MM2
- 9.11 国と地方の税源配分見直し強調。知事会議で首相 9.11 TE2
- 9.11 雇用「教育・環境」受け皿に。規制改革1年前倒し。政府改革先行プログラム案 9.11 NM1 AM3
- 9.11 構造改革、需要喚起型で。「持続可能」を尺度にイノベーションと好循環。東京大学教授・吉川洋(経済教室) 9.11 NM28
- 9.11 構造改革特別要求、8000億円上積み見込み。概算要求を閣議報告 9.11 AE2
- 9.11 2002年度予算概算要求、特殊法人向け5800億円減。首相指示「1兆円」と開き 9.11 AE2 NE1
YE2 ME1
- 9.11 デフレ阻止最優先。首相・財務相ら確認。証券市場の改革も 9.12 TM9
- 9.11 自動車重量税、一般財源に。首相、国交相に指示。道路特定財源、2002年度見直し 9.12 NM7
AM12
- 9.11 高速道路、首相、計画凍結に言及。自治体の反発必至 9.12 AM12
YM4
- 9.11 外形課税導入、前向きの発言。全国知事会で首相 9.12 MM5
- 9.12 成果急ぐ首相、省庁と溝。工程表の詰め迷走 9.12 NM7
- 9.12 (小泉改革の行方 / 特殊法人見直し) 概算要求、異例の「事前査定」。組織見直し、首相、テコ入れ狙う 9.12 MM5
- 9.12 道路特定財源の見直し反対決議。地方自治対策協 9.13 MM7
NM33
- 9.12 郵政公社、金融庁が検査。首相指示、総務相は難色 9.13 NM6

小泉改革

2001年

9.13	郵貯など金融庁検査。首相、公社化で導入提案	9.13 TE3
9.14	改革先行プログラム、公的雇用を拡大。首相が具体化を指示	9.14 NE1,2 TE3
9.14	構造改革路線、首相が再決意。外国特派員協会講演	9.15 AM4
9.14	公取委独立、機能を強化。改革工程表の原案判明	9.15 AM2
9.14	内閣支持率68.8%に。時事通信世論調査	9.15 TM2
9.17	住宅公庫、都市公団、10年かけ民営化。国交省案、首相に提示	9.18 AM3
9.18	内閣支持率、横ばい78.6% (読売新聞世論調査)	9.18 YM2
9.18	小泉改革、遅れている。不良債権処理など経営者の半数不満。同友会まとめ	9.18 NM5
9.18	構造改革の先送り避けよ。条件つけ需要対策。株式市場の活性化も急務。三和総研理事長・中谷巖 (経済教室)	9.18 NM29
9.18	道路公団民営化、第三者機関で議論を。『再建監理委』、首相、設置を表明	9.19 TM3
9.19	首相指示の労働市場規制緩和策 / 派遣・有期社員の拡大。待遇など議論先送り	9.19 AM15
9.19	首相、自衛隊派遣を表明。テロ報復、米軍の後方支援。初の戦闘時派遣に。日米首脳会談、21日にも	9.20 NM1,2 AM1,2
9.19	改革工程表、通信監督機関を削除。振興と分離に総務省抵抗	9.20 AM3
9.21	構造改革、方向を誤るな。知識社会へ転換を。挑戦後押しする環境整備。東京大学教授・神野直彦 (経済教室)	9.21 NM33
9.21	(どうする日本経済 / 瀬戸際の選択肢 - 4 -) 民営化 / 東洋大学教授・松原聡氏、経済活動全体にプラス。東大教授・神野直彦氏、しわ寄せ、弱者に向かう	9.21 AM11
9.21	「工程表」発表。不良債権、3年で処理。公的部門で臨時雇用。経済財政諮問会議	9.22 AM1 NM1,5 MM1
9.21	テロ対応、首相「主体的に支援」所信表明へ。国債30兆円枠、堅持	9.22 AM1,3
9.22	自民党の麻生政調会長、財政再建の首相をけん制	9.23 TM2
9.23	(時代を読む) 加藤寛 / 構造改革の断行を	9.23 TM3
9.24	国債30兆円枠、柔軟に。補正予算、拡大も。首相、世界経済に配慮。日米首脳、25日会談	9.25 NE1 TE1
9.24	危険伴っても自衛隊派遣。首相「戦闘状態」も想定。新規立法、民主の協力に期待。テロ報復支援	9.25 TE1
9.25	米軍支援立法を公約。情報共有しテロ資金断つ。首相、米大統領と合意。難民支援も新法で。特例の規定、与党が合意	9.26 AM1 NM1 MM2 TM3
9.26	国債枠30兆円、首相「柔軟に対応」	9.27 AM3 NM2
9.27	「小泉改革断行を」71%。内閣支持は81%。毎日新聞世論調査	9.27 MM1
9.27	改革「大胆かつ柔軟に」首相所信表明。痛み緩和策を列挙。テロ対策「国際協調で」	9.27 AE1,3 NE1,4
10. 1	道路公団民営化、期間短縮、国費不当入前提に。首相、国交相に再検討指示	10. 2 TM3 YM4 AM1
10. 3	政府の不良債権処理策、公的資金めぐり混迷の度増す。再注入反対の柳沢氏孤立化。工程表、市場は評価せず。RCC、登場に曲折。政府内「もう1回山場も」	10. 3 AM11
10. 3	不良債権比率、3年後4%以下。首相、最終処理へ目標示す	10. 4 NM1
10. 4	国債30兆円枠、首相、突破を示唆。補正「柔軟に対応」。衆院予算委	10. 4 NE1 TE1
10. 4	特殊法人存廃、4閣僚の協議機関。首相、方針固める。意見集約を加速	10. 5 NM2
10. 4	高速道整備、計画凍結に言及。首相、抜本見直しへ。衆院予算委	10. 5 NM2 AM2
10. 4	道路整備計画、国民負担含め試算。民営化で首相指示。複数想定し議論へ (小泉改革の行方 / 特殊法人見直し)	10. 5 MM9
10. 5	特殊法人改革、省庁の抵抗本格化。道路公団が試金石。首相、抜本的見直し強調。揺らぐ「廃止・民営化」。財政支出、1兆円削減も暗雲	10. 6 NM2 TM2 YM9,15,19 AM4
10. 5	特殊法人改革、首相「まだ不十分」。副本部長会議設置、見直し加速を指示	10. 6 AM3
10. 6	特殊法人改革 / 「官」「族」の抑えは首相の責任 (社説)	10. 6 YM3

2001年

10. 7	公共事業削減73%が賛成。交付税改革では賛否。地方財政で全国世論調査	10. 7	TM2
10. 8	特殊法人/閣僚は改革の先頭に	10. 8	TM4
10. 9	小泉首相、テロ対策特措法案、「国会の事前承認不要」、参院委で答弁。自衛隊の支援「限定的」	10. 9	AE1 NE1
10. 9	高速道路建設、首相の構想では困難。国費ゼロ・償還30年。国交省試算	10. 9	NE1
10. 9	軍事行動の影響注視。経済財政諮問会議、構造改革を前倒し	10.10	NM5
10. 9	(小泉改革の行方/特殊法人見直し)「道路族」が反旗。「高速道路整備は着実に」。自民合同会議決議	10.10	MM2
10. 9	国費ゼロ、償還30年なら、高速道、新規建設凍結を軸に。国交省が試算。首相「困難は承知の上」	10.10	NM5 TM9 AM12 MM1
10. 9	高速道路凍結認めず。自民部会決議、首相と真っ向対立	10.10	AM2 YM4
10.10	日本の憲法解釈、独自。参院予算委で首相、国際常識と差認める	10.10	TE2
10.11	特殊法人の情報公開強化。首相と太田氏一致	10.12	AM3
10.11	郵政民営化、方向性出せぬ懇談会。自民の抵抗依然強く。委員の意見割れる	10.12	AM4
10.12	小泉首相、国債30兆円枠、突破容認。「経済状況様変わり」	10.13	AM1 NM1
10.12	首相、憲法改正に意欲	10.13	YM4
10.12	「持論と違えば結論を変える」郵政公社答申巡り首相	10.13	AM4
10.13	国債30兆円突破やむなし。竹中経済財政相	10.14	MM2
10.15	交付税減ったら新体育館維持できない。秋田・西仙北町、小泉改革考慮、国体会場を返上	10.15	AE18
10.15	補正は1兆円規模。首相ら確認、国債「30兆円」枠前提に	10.16	MM2 AM2 NM1
10.16	(官業を斬る/揺らく「廃止・民営化」)小泉改革の聖域/危うい首相単発エンジン	10.16	NM1
10.16	内閣支持率は71%。米空爆後も横ばい。朝日新聞世論調査	10.16	AM2
10.16	(特集ワイド)自衛隊派遣、小泉改革、政界再編、日本人は一定の雰囲気ができあがると考えずにそれに流される。主体性のなさは10年前と全く同じだ。政界も動揺だ。小沢一郎自由党党首に聞く。	10.16	ME2
10.16	小泉首相、阪神高速に改革検討指示	10.17	NM5
10.17	内閣支持率81%。6カ月連続の高率。毎日新聞世論調査	10.17	MM1
10.19	内閣支持率70%台回復。時事通信世論調査	10.19	TM2
10.19	「マイナスでも」。財政健全化優先、首相改めて強調	10.20	AM2
10.19	特殊法人の経営情報、「開示促進」。首相が指示	10.20	AM4
10.23	内閣支持率、横ばい77.4%。読売新聞世論調査	10.23	YM2
10.23	テロ対策、恒久法も。首相、「発生前に検討必要」	10.24	AM4 YM4
10.23	雇用など3改革、来月結論。閣内調整は前途多難。経済財政諮問会議	10.24	MM9
10.24	2002年度予算、歳出抑制、一段と強化。財務相、方針明らかに。特殊法人向けなど削減	10.25	NM5
10.24	首相、診療報酬下げ固める。医療制度改革「患者負担増」と同時に	10.25	YM1,2
10.25	小泉政権半年/改革に実を見せる時期だ(社説)	10.25	MM5
10.25	政権発足半年、小泉改革照準に狂い。政策に優先順位を。不良債権処理が急務。経済閣僚、足並み乱れ	10.25	NM3
10.25	衆院院選挙制度改革、首相慎重論、与党きしむ。自民内も異論噴出。公明は反発。幹事長合意揺らく	10.26	NM2 AM1,3,4
10.26	点検、首相の半年/成果見えぬ小泉改革。不況、抵抗で前途多難。米テロ、外交にも試練	10.26	TM3 MM3
10.26	補正予算案概要、貫いた「30兆円枠」。景気浮揚効果は未知数	10.27	TM9
10.26	『小泉改革、70-80点』。竹中氏、甘口採点	10.27	TM9
10.27	原点を確認し「小泉改革」立て直せ(社説)	10.27	NM2
10.27	経済政策/改革の原点を忘れるな(社説)	10.27	AM2
10.27	改革足踏み、焦る首相。経済諮問会議、財務相も運営を批判。竹中氏「苦勞する」とぐち	10.27	AM3
10.27	「小泉改革の成果見えぬ」。OECD対日審査会	10.27	AE1
10.29	特殊法人改革、7法人から着手。首相改めて強調	10.30	NM5

小泉改革

2001年

10.29	首相公選、3案検討。諮問機関の懇談会「国民の判断材料に」	10.30	AM4	TM2
10.29	国債30兆円枠、財務相「放棄なら政権崩壊」。堅持改めて強調	10.30	NM5	
10.30	堺屋内閣特別顧問、「小泉改革」に苦言。「非常事態に何もやってない」	10.30	MM9	
10.30	平沼経産相、小泉首相に石油公団改革案を報告	10.30	NE	
10.31	道路公団 / 整備計画の凍結を(社説)	10.31	AM2	
10.31	補正予算案 / 改革の歩を緩めるな(社説)	10.31	TM4	
11. 1	医療制度改革、首相「先送り許さず」。厚労省試案の断行協調	11. 2	NM5	TM1
11. 1	高速道計画「見直す」。首相「整理必要なら国費も」	11. 2	AM2	NM2
11. 2	首相の『国債30兆円公約』、経済閣僚の見解まちまち。経財相、機敏な政策変更示唆。財務相、「変えれば政権崩壊」	11. 2	TM9	MM9
11. 2	(スカナー)道路公団民営化、攻防激化。指導力 / 問われる首相、「不退転の決意」は揺るがず。抵抗 / 勢いづく道路族、「建設計画では一步も引かない」。守勢 / 国土交通省懸念、「改革考えているのに」 - 憤る大臣	11. 2	YM3	
11. 2	これまでの特殊法人改革を検証 / 「数合わせ」繕いの歴史。国民の将来負担見えず。抜け道、5つのパターン / 看板かけかえ・変わり身・同族結婚・省庁間結婚・法人はずし	11. 2	AM15	
11. 3	道路公団改革 / 建設いったん凍結に(社説)	11. 3	TM4	
11. 3	特殊法人改革、手詰まり感。道路整備、政策金融、自民内の抵抗顕在化。見えない着地点	11. 3	NM2	MM5 AM3
11. 5	(小泉改革の行方 / 特殊法人見直し)道路公団「改革」色あせ。高速道路、全線建設へ布石。首相の指示、大きく後退	11. 5	MM3	
11. 6	特殊法人改革、推進協議会設置へ。全閣僚と与党幹部が参加	11. 7	YM4	
11. 6	(小泉改革の行方 / 特殊法人見直し)高速道計画、「一部区間の凍結も」。整備検討委・諸井座長、上下分離案を批判	11. 7	MM2,5	
11. 7	攻めて守る道路財源。苦肉の本四公団充当案、財務省は様子見、首相に包囲網?(底流)	11. 7	NM5	
11. 7	石原行革相、特殊法人改革で弱腰? 「目玉閣僚」問われる真価	11. 7	YM4	
11. 7	自民、30兆円枠批判や二次補正要求論	11. 7	NE2	
11. 7	医療制度改革「先送りせず」。小泉首相、政府・与党協に実施指示	11. 7	NE2	YE2 AE1
11. 7	二次補正「小泉包囲網」。地方、民間.....要求噴出	11. 8	YM4	AM2
11. 7	自民政調会長会議、小泉改革に批判続出。高速道路整備計画の一部凍結などに	11. 8	TM2	
11. 7	特殊法人改革、首相と自民、対立鮮明に。住宅公庫、橋本氏、民営化に異論	11. 8	NM1,2	
11. 7	「2003年に郵便開放」。首相、方針改めて示す	11. 8	NM5	
11. 8	補正予算 / 構造改革の大局を見失うな(社説)	11. 8	MM5	
11. 7	一部独立法人化も。首相、特殊法人改革で容認	11. 8	TM2	MM1 YM2
11. 8	石油公団「廃止案」作り直し。首相、総務会長に指示	11. 8	ME4	
11. 9	就任半年、経済政策検証 / 景気認識に甘い首相。逆風強まる小泉改革。不良債権処理、公的資金検討の時。特殊法人見直し、強気姿勢に変化。雇用創出、即効性に疑問。株安値放置、不信招く。国債30兆円枠に固執	11. 9	YM14,15	
11. 9	首相、郵便事業の早期開放を指示。総務相「年内に具体案」	11. 9	NE2	
11. 9	郵便事業、「2003年に全面開放」。首相、総務相に指示。公社の設立と同時	11.10	AM1	MM11
11.10	医療制度改革、待ったなし。保険証が紙切れになる日。2025年の医療費、推計81兆円。厚労省試案、議論の行方を探る。小泉改革の試金石にも	11.10	YM13	
11.10	郵政民営化論議、足踏み。自民、反対論強まる。首相諮問機関、方向示せず	11.10	NM2	TM6
11.10	2次補正財源、「小泉ボンド」構想浮上。国有財産の売却益充当。国債30兆円と別枠	11.11	MM7	
11.10	大学など3分野、経営に株式会社。参入検討、首相が指示。関係者には反対も根強く	11.11	YM2	
11.10	高速道路整備「継続あり得ず」衆院予算委。首相、具体化急ぐ	11.12	NE2	
11.11	首相「2 - 3年、低成長は我慢」	11.12	NE2	

2001年

11.12	「橋本改革とは違う」。首相、2次補正は含み残す	11.13 AM1
11.13	高速道路整備、国費投入めぐり綱引き。首相、国民負担軽減を重視。道路族、やや歩み寄る気配も	11.13 AM4 NM2
11.13	反小泉改革で自民議員連盟	11.14 NM2
11.13	ハローワーク民営化、首相ぶち上げ「物議」。衆院予算委、「有料化進む」と野党反発	11.14 AM4 MM2
11.13	郵政公社、首相方針と溝。総務相研究会、中間報告案。郵便開放、段階的に。金融庁検査は見送り	11.14 NM7
11.14	2002年度予算、月末に基本方針。官邸主導、与党焦り。大枠決定、日程早まる。構造改革重点分野、広がる反発	11.14 NM2
11.14	(迷走・小泉改革/苦悩する経済閣僚 - 1 -)景気後退、狭まる選択肢/集中審議で突破口模索	11.14 NM5
11.14	「住宅公庫を廃止」。パイオフ再延期せず。診療報酬下げ。首相、参院予算委で言明	11.15 NM1 AM1
11.14	(迷走・小泉改革/苦悩する経済閣僚 - 2 -)不良債権出口遠く/危機回避シナリオ、描けず	11.15 NM5
11.14	小泉改革、胸突き八丁。自治体も強く抵抗。首相は正面突破の構え。住宅公庫廃止、国交省、動揺広がる	11.15 NM3
11.14	特定郵便局は全廃。金融庁検査も容認。首相が会長の郵政議連が提言。民営化反対論に対抗	11.15 NM1 TM1
11.15	小泉改革に反対、自民議連があす発足	11.15 YM4
11.15	(攻防激化/小泉改革 - 1 -)道路公団改革/声高抵抗勢力...動かぬ首相(にっぽん再生)	11.15 YM2
11.15	首相公選制、3案併記へ。有識者懇、首相とずれ	11.15 NM2
11.15	2002年度予算、「構造改革の第一歩」。財政審分科会が建議	11.15 YE2
11.15	高速道、首相が凍結意向。出資金、来年度限り。未整備区間、建設費10兆円減	11.15 NE1,2
11.15	特殊法人改革、半数が「現状維持」、「廃止」1、「民営化」15。読売新聞情勢調査	11.16
11.15	特殊法人改革、自民内、公然と反旗。橋本氏、古賀氏、真っ向反論。首相、強気崩さず	11.16 NM2 MM5 AM4
11.15	道路公団改革、国費投入ゼロ、未開通凍結、民営化断行。首相、3点指示の意向	11.16 MM1 TM1
11.15	(小泉改革の行方/特殊法人見直し)住宅公庫廃止/首相決意、利用者に困惑。具体的中身は不明。財投、繰り上げ返済も課題	11.16 MM2
11.16	(攻防激化/小泉改革 - 2 -)高速道見直し/地方の反発...意識改革の時	11.16 YM2
11.16	(迷走小泉改革/苦悩する経済閣僚 - 3 -)二次補正巡りズレ。財政再建と距離、徐々に	11.16 NM5
11.16	住宅公庫の廃止の実現性検討急ぐ。扇国交相	11.16 ME3
11.16	道路4公団民営化、具体内容、第三者機関。1年かけ詰め。首相方針	11.16 YE1
11.16	住宅公庫の廃止へ調整。行革相方針	11.16 YE2
11.16	内閣支持率63.6%。時事通信世論調査	11.17 TM1
11.16	郵便事業への民間参入で首相、無条件開放に意欲示す	11.17 YM4 NM2
11.16	補正予算成立。厳しさ増す30兆円枠。「次の補正」焦点に。需要追加なら改革と矛盾	11.17 MM11 TM7 YM2
11.16	郵政公社に対する検査、金融庁実施「前向きに」。首相検討指示	11.17 TM7
11.16	医療改革「月内に結論を」、政府・与党協で首相指示	11.17 AM4 YM4
11.17	(攻防激/小泉行革 - 3 -)住宅公庫改革/首相「廃止を」...最大派閥反撃(にっぽん再生)	11.17 YM2
11.17	(迷走・小泉改革/苦悩する経済閣僚 - 4 -)30兆円枠巡り攻防/「改革のテコ」不況の逆風	11.17 NM5
11.18	(攻防激化/小泉行革 - 4 -)郵政民営化/入り口で猛反発...戦略再考も	11.18 YM2
11.18	政策主導権争い本格化。経済諮問会議、集中審議20日再開。予算編成、試金石に	11.18 NM3
11.18	首相、地方の構造改革諮問。地方制度調査会あす発足	11.18 MM2
11.18	構造改革後の2010年、「知と人と美の国」。諮問会議・有識者チーム、日本再生シナリオ、70歳定年など提案	11.18 NM3
11.18	緻密な議論が医療構造改革の基本(社説)	11.18 NM2

小泉改革

2001年

- 11.18 首相は「国民の声」武器に。対話集会全国一巡。意見4万9000件『これからも続ける』。閣僚間では熱意に温度差 11.19 TM2
- 11.18 首相、巻き返し図る。道路4公団、統合後の民営化方針。自民・国交省連携に危機感。行革相に不満も 11.19 YM4
- 11.18 道路4公団、首相「国費、今年度限り」。分割・民営化、公式に表明。都市公団も廃止 11.19 NM1
AM1,2 YM1 TM1
- 11.19 小泉内閣支持率75%。6ポイント減、初の80%割れ。毎日新聞世論調査 11.19 MM1
- 11.19 改革旗手、竹中経財相、援軍なし。頼みの首相と意見の相違。デノミの奇手に冷たい目 11.19 AM7
- 11.19 道路公団民営化は受け入れ可能。自民総務会長 11.19 NE1
- 11.19 党承認経ず内閣が法案提出。政策決定手順見直し。首相、主導実現へ指示 11.20 TM1,2
MM2,3 YM2
- 11.19 首相、2次補正を指示。景気配慮「15カ月予算」。2-3兆円案浮上 11.20 NM1
- 11.20 2次補正合唱一気に。首相も軟化、論議解禁。景気と改革、両立を模索。党内意見と対決の姿勢。共同歩調の盟友までも(時々刻々) 11.20 AM3
- 11.20 首相は抵抗排し、特殊法人改革を貫け(社説) 11.20 NM2
- 11.20 内閣支持率微減、76.2%(読売新聞世論調査) 11.20 YM1,2
- 11.20 小泉改革/族議員のばつこを許すな(社説) 11.20 MM5
- 11.20 (スコープ2001政局)高速道国費ゼロで未着工区間建設、償還50年で半分、30年ならゼロ。『首相は大統領じゃない』『道路族つぶし』に反発強まる 11.20 TM2
- 11.20 道路公団改革/小泉首相を励ます(社説) 11.20 AM2
- 11.20 (迷走・小泉改革/苦悩する経済閣僚-5-)特殊法人固い包囲網/抵抗勢力突破へ足踏み 11.20 NM5
- 11.20 「生活者の視点、小泉改革欠く」。多様な分権型社会を。21世紀臨調が提言 11.20 AM4 TM2
- 11.20 首相「2次補正検討」。30兆円枠維持、焦点に 11.20 AE1 NE1
- 11.20 道路4公団統合、本四公団は除外。国交相、首相方針に異論 11.20 NE1
- 11.20 自動車重量税3割。一般財源化の方向。約2000億、財務・国交両省が調整 11.20 YE1
- 11.21 7法人廃止・民営化。特殊法人先行改革、住宅公庫など。首相、行革相に指示 11.21
NM1,3 MM2
- 11.21 与党事前審査を廃止せよ(社説) 11.21 NM2
- 11.21 政権の命運を左右。内閣支持率、異例の高さ続く小泉政権..消極的支持も増加 11.21 TM2
- 11.21 小泉首相、政策決定一元化を指示。与党内に反発広がる。「常識」だが党内は..民主 11.21 AM4 YM4
- 11.21 (迷走・小泉改革/苦悩する経済閣僚-6-)医療改革、解けぬ対立。激論に沈黙、調整の機待つ 11.21 NM5
- 11.21 党首討論/特殊法人改革。抵抗勢力打破へ首相強気。鳩山氏は協力強調。民主、自民分断狙う 11.22 NM2
- 11.21 住宅公庫廃止、5年以内に。低所得層、税優遇で対応。党首討論で首相 11.22 TM2 NM2
AM4,13
- 11.21 首相案を自民容認。道路公団改革、決着へ。国費投入中止や計画縮小。50年償還に首相譲歩。償還期間延長なら中止路線最小限に、受け入れ要因に 11.22 TM1 AM1
- 11.21 公団改革「償還50年」で決着。党内へ首相“誘い水”、“実”見込んだ道路族。民主へも警戒感(スコープ) 11.22 TM2
- 11.22 (迷走・小泉改革/苦悩する経済閣僚-7-)郵便開放で板挟み。苦慮する総務相、官と距離 11.22 NM5
- 11.22 (どうなる小泉改革/プレーンに聞く)総合規制改革会議議長・宮内義彦氏/経済担当副首相の設置を。法案作成権を担当相に 11.22 AM4
- 11.22 (混迷する医療改革-上-)厚生族・日医連合が反転攻勢。組織総動員、首相と対決 11.22 YM4
- 11.22 「抵抗派の事務総長」首相にエール。野中元幹事長が突然「改革進めろ」。内閣の早期改造否定 11.22 AM4 MM2
- 11.22 住宅公庫、都市整備、2公団、廃止で合意。扇国交相と首相が協議。「本四」統合は反対 11.22 ME1 NE1
- 11.22 構造改革進めば実質1.5%成長に。経済諮問会議試算 11.23 NM5
AM11

2001年

11.22	2次補正、「構造改革」型目指す。経財諮問会議が方針承認	11.23 AM2 MM3 NM5
11.23	特殊法人廃止/この勢い止めてはならぬ(社説)	11.23 MM5
11.23	特殊法人改革/ようやく突破口が開けた(社説)	11.23 AM2
11.24	7法人改革/廃止・民営化これからが本番だ(社説)	11.24 YM3
11.24	だれが税制を決めるのか(社説)	11.24 NM2
11.25	(どうなる小泉改革/プレーンに聞く)行革断行評議会・猪瀬直樹氏。国費投入ゼロは」画期的。道路公団、「外堀」埋めた	11.25 AM4
11.26	(大詰め小泉改革)総合規制改革会議/官の手法に「不満」。既得権めぐり業界と調整「スピード遅い」。民間と温度差	11.26 MM2
11.26	小泉ショック、高速道計画見直し。揺れる自治体。静岡/第2東名凍結に反発、防災上の必要性強調。山形/「採算、度外視しても」プール制維持譲れず	11.26 MM24
11.26	本四公団債務処理に道路予算、首相の主張と矛盾?道路特定財源、使途“固定”も	11.26 YM2
11.26	小泉改革に橋本氏異議。政府系金融機関の見直し論で	11.27 AM4
11.26	経済財政諮問会議、来年から税制論議	11.27 AM9
11.26	「連結納税」来春導入見送り方針、与党内からも批判相次ぐ。首相も再検討を指示	11.27 YM9 NM1 TM3 AM9
11.27	「本四」処理、首相、指示を修正。道路族の反発に押され	11.27 MM2
11.27	小泉内閣支持率78%、高水準続く。「雇用不安」最悪の87%。自民支持は49%、1人勝ち、民主低迷14%。日経新聞世論調査	11.27 NM1,2
11.27	特殊法人改革/首相は手を緩めるな(社説)	11.27 TM4
11.27	改革を世論が後押し。特殊法人改革、高速道路縮小、「賛成」8割。ペイオフ解禁、国債30兆円枠、賛否が拮抗(日経新聞世論調査)	11.27 NM3
11.27	(いまこの人に)小泉改革/東洋大学教授・松原聡さん。国民にメリットありますか。5年後には経済にプラス	11.27 TM8
11.27	内閣支持率、微増74%。住宅公庫廃止は賛否。朝日新聞世論調査	11.27 AM2
11.27	7法人改革、ふれた首相指示。道路4公団「統合」一転「一体で検討」	11.28 MM2
11.28	第2幕、本四債務で火花。首相、高速道収入を充当、道路財源一般化狙う。道路族、特定財源活用で建設費用確保へ逆襲(スコープ2001)	11.28 TM2
11.28	7法人改革策/断固密室政治を排除せよ(社説)	11.28 MM1
11.28	医療改革、綱引き激化。与党、「総額抑制制は論外」。首相、「強行決定」辞さず	11.28 NM2
11.28	米格付けS&P、日本国債を格下げ。G7では最低。構造改革の法整備に遅れ	11.28 YE2 AE1
11.28	S&P、日本格下げ、国債先行き募る不安。整理基金、財源減り返済難に。与党、分かれる対応。「30兆円枠守る」「デフレ対策を」	11.29 AM11
11.28	国鉄再建並の権限ある機関に。首相	11.29 TM2
11.29	「痛み出ても改革必要」46%。構造改革・読売新聞世論調査	11.29 YM1,17
11.29	サラリーマン医療費「負担3割」、首相指示へ	11.29 NE1 AE1 ME5
11.29	本人3割負担、2003年度から。診療報酬「下げ」。通院多い高齢者に「ズシリ」。医療制度改革、政府が方針。政府与党協議決着	11.30 AM1,3,4 TM1 MM7 NM1,3
11.29	小泉首相、「増税せず」改めて示唆	11.30 MM9
11.29	医療制度改革決着。押し込まれた小泉改革。患者負担、高齢者は大幅増へ。保険料、政管健保引き上げ。診療報酬、引き下げ幅不透明。目玉の「伸び率管理」見送り。患者に偏る「痛み」	11.30 YM3
11.30	医療制度改革「骨抜き決着」。利害調整に終始。既得権破る必要(解説)	11.30 YM15
11.30	医療制度改革/「三方一両損」の名に値しない(社説)	11.30 YM3
11.30	医療制度改革/「三方一両損」の看板が泣く(社説)	11.30 MM5
12. 1	検証/医療改革、政府・与党の攻防。3割負担/党抜き手法「族」抵抗、「なめるな」「首相止めろ」。伸び率管理/日医、見送りに照準、「全部骨抜きになった」	12. 1 YM4

小泉改革

2001年

12. 1	医療制度改革 / 後退が後退を生む恐れ (社説)	12. 1 AM2
12. 4	高速道路発注、中立専門家が関与。自民行革本部、首相に要請へ。新組織議論にらみ	12. 4 AM4
12. 4	構造改革で2%以上成長。景気、来年度に回復の動き。財政再建へ消費税上げ試算。経済財 白書	12. 4 TE1,2 AE1 NE1,2 YE6
12. 4	経済財政白書 / デフレ問題・物価数値目標導入「日銀は積極的検討を」。構造改革も訴え。 不良債権処理・2年以内の最終処理で失職39万人超。財政赤字・社会保障費抑制を強調	12. 5 AM12
12. 5	内閣支持率79%。民主は一けた台に。全国世論調査	12. 5 TM2
12. 5	国立大学と構造改革 / 行革から出発、生き残りへ必死 (絵で見るニュース)	12. 5 AM14
12. 5	関空も「行革の一環」、小泉首相	12. 5 AE2
12. 5	小泉国債9兆円を。自民麻生氏私案、成田などに経済特区	12. 5 NE1
12. 5	自動車重量税、首相は「一般財源に」	12. 6 NM1 TM2
12. 5	「小泉行革国債」9兆円発行提言。自民政調会長	12. 6 TM2
12. 5	官邸・自民、攻防第2ラウンド。特殊法人、首相「徹底改革を」、行革相に指示。独立行政 法人も視野	12. 6 NM2
12. 5	『小泉国債』に慎重な姿勢。塩川財務相	12. 6 TM9
12. 5	首相主導政治、古賀氏が批判	12. 6 YM4
12. 5	自民首脳、政策決定一元化に難色	12. 6 YM4
12. 6	小泉改革支援一色の経済財政白書 (社説)	12. 6 NM2
12. 6	党内から巻き返し。橋本派・麻生氏、相次ぎ政策提言	12. 6 NM2 AM4
12. 6	郵政事業維持へ参院超党派議連が発足	12. 6 NE2
12. 6	個人向け国債、首相、2002年度発行を指示	12. 6 NE2
12. 6	首相、「政府系金融トップ、天下りだめ」	12. 7 AM4 TM2 NM2
12. 6	首相、税制改革に本腰。2002年2月に論議前倒し。会見で表明	12. 7 NM2 NM1 AM2,4 YM4
12. 6	一般財源化、揮発油・石油ガス税も。首相、2003年度予算で検討	12. 7 TM1
12. 6	郵政民営化、阻止狙い超党派議連。参院の146人、衆院とも連携へ (大詰め小泉改革)	12. 7 NM2 TM2
12. 7	痛み回避論、また自民内噴出。首相、改革路線なお堅持。景気重視派、経済政策転換迫る (スコープ2001政局)	12. 7 TM2
12. 7	一般財源化なら「付加減税を」。道路特定財源で野中氏	12. 7 AE2
12. 7	税制抜本改革、消費税含め議論。小泉首相、考え明らかに	12. 8 NE1
12. 7	内閣主導強化へ政策決定一元化。改革推進で首相が方針。補佐役に与党担当者 / 党議拘束を 緩和	12. 8 AM1
12. 9	諮問会議、民間議員を増員。一部を専任制に。税制改革へ内閣主導強化。法改正検討	12. 9 NM3 AM4
12.10	政府系金融機関、首相、統廃合に意欲	12.10 AE1
12.10	政府系金融の「存続は必要」。特殊法人改革、閣僚から反対続々	12.11 NM2 TM2
12.11	特殊法人改革、原研・核燃機構・科技事業団、首相、統合を指示	12.12 TM1
12.11	政府系金融改革、首相、一層の検討を指示	12.12 NM2
12.12	(どうする小泉改革 - 上 -) 与党の事前審査見直し。自民党組織にメス、政界再編も視野に。 政策研究大学院大学教授・御厨貴氏	12.12 AM13
12.12	自民内に景気優先包囲網。「痛み」鎮静策をアピール。各派が路線転換要求。国債増発で浮 揚策を。『30兆円枠』に異論 (核心)	12.12 TM2,3
12.12	(小泉予算) 医療改革「痛み」どう分担。医師会強硬、埋まらぬ溝	12.12 NM7
12.12	30兆円枠絡み溝埋まらず。自民と公・保、双方、主張取り下げず	12.12 NM2
12.12	税制の抜本改革論議、首相、山中氏訪ね直談判。政府主導にらみ党税調にも配慮	12.13 NM2
12.13	(小泉予算) 地方財政また隠れ借金論。「交付税」もるて数合わせ	12.13 NM7
12.13	政府系金融など11法人、見直し、首相判断に。特殊法人改革、政府計画全容	12.13 YE3
12.13	小泉首相、積極財政論を批判	12.14 AM4
12.13	郵政民営化へ前哨戦。条件付き郵便事業開放。布石狙う首相、反対派も動き活発	12.14 TM9

2001年

12.13	特殊法人改革、与党へ政府原案提示。激しさ増す首相との攻防。「手続き踏め」飛ぶ怒声	12.14 YM4
12.14	試される予算の構造改革。財務省原案20日以内示。隠れ借金/財源難で数合わせも。メリハリ/整備新幹線が焦点(核心)	12.14 TM3
12.14	(!どうなる小泉改革-下-)「灰色の十年へ」。なお成長が優先か構造改革急ぎすぎ。経済学者・伊東光晴氏	12.14 AM13
12.14	(官業を斬る/剣が峰の小泉改革)民業補完、危うい実像。市場ゆがめる「金利破壊」	12.14 NM1
12.14	首相、郵政民営化を指示。郵便の全面開放も了承	12.14 NE1 AE2 TE2
12.14	2002年度税制改正決定。税の構造改革不十分。税収の確保を優先。抜本改正、税率見直し必要	12.15 NM3 YM3
12.14	課税最低限など抜本改正。首相、2003年度以降実施へ指示。道路財源も見直し	12.15 NM1
12.14	都市再生へ「緊急地域」。民間開発加速目的、首相が時限立法指示	12.15 AM2
12.15	内閣支持率69%に。指導力で評価上昇。時事通信調査	12.15 TM2
12.15	(官業を斬る/剣が峰の小泉改革)抵抗勢力は引き立て役。支持率背に正面突破図る	12.15 NM1
12.15	首相主導、流れ加速へ。自民税調に陰り。公・保との合意優先	12.15 NM2
12.15	(大詰め小泉改革)第三者機関設立ラッシュ。改革「骨抜き」批判、回避狙う?道路、金融...先送りの象徴	12.16 MM2
12.16	(点検・与党審査/変わる政官業の構図-上-)首相主導、族議員かすむ。予算獲得へ焦りも	12.16 NM2
12.17	郵政監察局を廃止、首相方針。警察に捜査権移管	12.17 NM1
12.17	小泉改革を汚す空港統合(社説)	12.17 NM2
12.17	政府金融機関の統合検討。「首相の私的懇」で調整	12.17 ME1
12.17	特殊法人改革、政府系金融先送り。経済財政会議で検討	12.18 AM1,2,4 NM1,3 YM9
12.17	野党が批判。「改革にほど遠い」	12.18 NM2
12.18	内閣支持率、横ばい76.3%。読売新聞世論調査	12.18 YM2
12.18	(濁流逆流/小泉改革-上-)「言葉先行」目立つ妥協。「政策論抜き」に批判続出	12.18 YM1,2
12.18	「金融」消えた大統合案。3グループに再編、橋本氏を恐れ封印	12.19 NM2
12.19	特殊法人改革/竜頭蛇尾に終わらせるな(社説)	12.19 AM2
12.19	特殊法人改革/期限を切って見直せ(社説)	12.19 TM4
12.19	特殊法人/「聖域なき改革」とはこの程度か(社説)	12.19 YM3
12.19	特殊法人改革はこれからが本番だ(社説)	12.19 NM2
12.19	特殊法人化改革/新たな決意で熱いうちに(社説)	12.19 MM5
12.19	小泉改革を中間評価。田中直毅氏が問題提起。読者から意見を募集	12.19 AM4
12.20	(点検・与党審査/変わる政官業の構図-下-)「大蔵省」静かな復権。小泉人気便乗と批判も	12.20 NM2
12.20	(濁流逆流・小泉行革-下-)公団廃止で新たな「官益」	12.20 YM1,2
12.20	構造改革へ緊縮型。2002年度予算財務省原案内示。一般歳出2.3%減47兆5472億円。景気と両立に不安。国債新規は30兆円	12.20 NE1 AE1 ME1
12.20	削減優先「デフレ予算」。財務省原案内示。景気下支えを「放棄」。経済財政諮問会議、実務で主導権失う	12.20 YE3
12.20	小泉予算、明快さ後退。公約優先、数合わせ。特定財源など一定の成果	12.20 NE3
12.20	2002年度予算財務省原案・特殊法人/7法人向け大幅減。小泉首相の指示達成	12.20 NE2 YE2 ME3
12.20	ペイオフ予定通り。首相、金融危機には柔軟対応	12.21 NM1 AM2 TM3
12.21	改革より緊縮が先行した小泉予算(社説)	12.21 NM2
12.21	予算財務原案/後味悪い数字合わせ(社説)	12.21 TM4
12.21	予算採点/算数は満点、道徳は零点(社説)	12.21 MM5

小泉改革

2001年

12.21	危うさはらむ緊縮予算/底割れ防ぎ活力回復を。編集委員・山崎宏	12.21	NM1
12.21	隠れ借金「改革」に逆行。2002年度予算財務省原案内示。「30兆枠」薄れた意義。税収補てん「奥の手」復活(スキャナー)	12.21	YM3
12.22	予算陳情も“構造改革”。対策本部、10県のみ。財政難、効果に疑問、「抵抗勢力」と誤解イヤ	12.22	TM1
12.22	竹中経済相/構造改革は継続こそが力(2001この人)	12.22	MM5
12.24	2002年度予算政府案。歳出メリハリ不十分、国債30兆円枠を優先。「隠れ借金」1.5兆円。編成作業、財務省ペースで	12.25	NM2,4,5 AM7
12.25	郵政3事業2005年に民営化。首相が構想提示。公正競争確保へ、公取委など強化	12.26	TM1
12.25	有事法制、包括的に。第3分類含め法案提出。首相方針	12.26	TM1
12.26	構造改革「進んでいない」6割。「特殊法人」では評価。朝日新聞世論調査	12.26	AM1
12.26	首相、税制抜本改正議論、来月開始を確認。政府税調と諮問会議で	12.27	NM5
12.27	年明けに経済新ビジョン、首相ら一致。公的資金、再投入も。銀行経営、深刻化受け	12.28	MM1 TM1
12.27	特殊法人改革の新監視機関、「我々もメンバーに」。行革断行評議会、猪瀬氏ら首相に“直訴”	12.28	MM5
12.27	「市町村数を3分の1に」。首相「税財源を移譲」	12.28	AM1
12.30	郵政公社、国債売買に「歯止め」。計画公表など義務づけ。首相検討	12.30	AM1
12.31	特殊法人改革、郵政民営化、「民間人主導」正念場に。小泉流重用、批判強まる	12.31	NM2
12.31	地方政治・経済この1年/小泉改革で高まる荒波。再生ヘカシ取り厳しく。地方置き去りに危機感/道路整備凍結に異論、財政再建へ決意表明も。信金・信組など破たん相次ぐ、影響くい止めに躍起、地銀、融資先選別強化	12.31	NM22

2002年

1. 1	小泉首相年頭所感、経済構造改革に全力	1. 1	
1. 1	「小泉ビジョン」策定へ。有権者とネット対話。7分野戦略。若手議員軸に政策	1. 1	AM1
1. 3	小泉改革、勝負の年に。特殊法人/法案化で骨抜きも、道路・金融は難航必至。税制抜本改正、所得税フラット化焦点。郵政民営化、郵便開放の条件次第	1. 2	NM8,9
1. 4	「消費税含め議論」。首相年頭会見、税制改革に意欲	1. 5	AM1 TM1
1. 4	金融危機、あらゆる手段で回避。公的資金も選択肢。ペイオフ予定通り。首相会見	1. 5	NM1,3 YM4
1. 5	省庁再編1年。内閣主導、あくまで小泉流。補佐官増員・発議権、活用不十分。統合省庁、旧省庁の“縄張り”なお。諮問会議除く内閣府3会議、成果今ひとつ。首相、今年も、自民党とのギクシャクは覚悟(スキャナー)	1. 5	YM3,15
1. 7	首相「改革に全力投球」。各党仕事始め	1. 7	NE2
1. 7	副大臣、交代8人内定。新設の行革担当に熊代氏	1. 8	AM2 YM4
1. 8	「財政支出拡大はナンセンス」、米、小泉改革を支持。竹中経財相と意見交換	1. 9	NE1
1. 8	自民、今年の運動方針案、小泉色を前面に。郵政の国営堅持削除	1. 9	AM3
1. 9	副大臣人事は派閥主導。政治主導の目玉ポスト、橋本派、がっちり主要枠。補佐役、時に空振り(時時刻刻)	1. 9	AM13
1.10	「増税なし改革」どう実現。税制論議、17日スタート。道路特定財源、首相、見直しに意欲	1.10	AM13
1.11	(郵政改革始動 - 上 -)首相頼み/民営化へ根強い抵抗	1.11	NM5
1.11	自民道路族、猛反発。道路公団、根回しなく工事見送り	1.11	YM4
1.12	首相、消費増税への注目回避。税制改正、景気・財政両立難しく	1.13	NM2
1.12	直間比率、是正こだわらず。衆院「2増3減」に理解	1.13	NM1 AM3,4
1.14	不良債権処理「2、3年以内に」。首相、「着実に正常化」	1.15	AM2
1.15	「小泉改革、大幅に後退」。民主政策決定会合、鳩山氏、批判強める	1.16	AM4
1.15	特殊法人改革/首相は強い人事権を(社説)	1.15	TM4

2002年

1.16	有事法制、首相、通常国会提出を指示。対象範囲の拡大、焦点に	1.17 NM3
1.17	経済諮問会議、自民税調、政府税調、小泉税制「うちが主導」。増減税で綱引き	1.18 NM2
1.17	経済再生へ税制見直し。首相指示、構造改革の柱に。所得税や特定財源対象	1.18 NM1
1.17	「郵政民営化検討せず」条文削除問題棚上げに。総務省、自民部会反発で	1.18 AM11
1.17	課税最低限、首相、引き下げに意欲。政府税調税制改革論議スタート	1.18 AM1
		TM1,2
1.18	2増3減、首相、断念を表明	1.18 AE1
1.18	首相、財政赤字拡大の減税は否定	1.19 AM2
1.18	政府一転、破たん回避路線。首相『金融など影響大きい』	1.19 TM2
		MM11
1.18	医療費3割負担、首相、来年4月示す	1.19 AM2 MM3
1.19	内閣支持率微減67.8%。景気不安背景に。時事通信世論調査	1.19 TM2
1.19	道路公団民営化の推進委、人選、国会同意求めず。首相方針	1.20 YM1
1.20	税制改革、公平性に重点。首相・財務相、課税範囲拡大狙う。活力向上と両立課題	1.20 NM3
1.21	内閣支持率77%。前回比2ポイント増。発足以来の高率維持。毎日新聞世論調査	1.21 MM1
1.21	「経済危機」まず協議。「小泉ビジョン」工程表、月内に8分野の基本方針	1.22 AM4
1.22	知的財産保護に首相直属の機関。「戦略会議」発足へ	1.22 AM2
1.22	郵政事業「非民営化」条文、削除巡り綱引き。首相vs族議員、し烈な論戦へ	1.22 MM5
1.22	内閣支持横ばい77%（読売新聞世論調査）	1.22 YM2
1.22	道路公団の第三者機関人事、国会同意必要なし。首相方針	1.23 TM3
1.22	医療費3割負担、政府、足並み乱れ。首相、来年4月に。厚労相、先送り示唆	1.23 NM5
1.23	構造改革/国民参加の道を用意せよ。行革国民会議事務局長・並河信乃（私の視点）	1.23 AM15
1.23	公的資金注入、首相「柔軟に対応」。税制、全般見直し。参院代表質問答弁	1.23 NE1
1.24	高速道路発注見送りを撤回。道路族、巻き返し。官邸主導人事、首相は譲らず。第三者機関、火種に	1.24 NM2 AM3
1.24	政治腐敗防止法を検討、首相答弁、衆院予算委	1.24 NE1 TE1
1.24	3月危機「起こさせない」。予算委で首相、万全の体制強調	1.25 AM4
1.24	「自民は医師会寄りやめよ」。医療費3割負担、首相改めて強調	1.25 NM5
1.24	道路公団改革の第三者機関人選問題、「国会同意」求める声。野党含め首相包囲網	1.25 AMN4
1.24	「知的財産戦略会議」設立へ。首相直属で来月上旬	1.25 MM3
1.24	税控除、大幅見直し。小泉首相意向示す	1.25 AM3 YM2
		NM1 TM1
1.25	税制論議、「分業」で。自民税調、「法案化」。政府税調、「制度設計」。経済財政会議、「基本設計」。利害調整、首相頼みか	1.26 TM7
1.25	政府系金融の統廃合問題、首相、先送りにクギ	1.26 AM4
1.26	郵政民営化、尽きぬ壁。首相の悲願に次々問題浮上。過小資本/自己資本約0.4%、民間では「破たん」。国債大量保有/残高見通し70-80兆円、売却なら暴落も	1.26 TM3
1.26	医療費バトル再燃。来年4月から3割負担/小泉首相、「改革汚す」と譲らず。自民厚生族、事前審査拒否の声も	1.26 AM4
1.26	「小泉改革、3年ぐらいは必要」。官房長官、地元で長期政権へ支持訴える	1.27 AM4
1.28	サラリーマン医療費3割負担、首相、厚生族、対立先鋭。事前審査拒否も	1.28 YM2
1.28	道路公団第三者機関、個別路線見直し求めず。首相後退「基準作成のみ」	1.28 NE1 AE1
1.28	道路公団第三者機関、首相、人事は確保。法案の早期成立を優先	1.29 NM2
		TM1,2 AM4
1.29	内閣支持72%、横ばい。「景気雇用優先」57%に増。朝日新聞世論調査	1.29 AM2
1.29	田中外相・野上次官を更迭。NGO問題、首相が打開図る。議運委員長鈴木氏辞任。政権運営に影響	1.30 AM1,3
		NM1
1.31	外相更迭、構造改革先行き懸念。小泉人気かげりの声も	1.31
		AM10,13

2002年

2. 1	小泉内閣支持率急落55%。外相更迭響く(テレビ東京世論調査)	2. 1	NM2
2. 1	「小泉離れ」急速。支持率大幅ダウン、市場もトリプル安。与党内に危機感。政権の正念場に	2. 2	AM1
2. 2	小泉政権/国民が離れ始めた(社説)	2. 2	AM2
2. 2	内閣支持、47%に急落。外相更迭が打撃。「納得できない」66%。改革実現、69%が疑問視。読売新聞世論調査	2. 2	YM12,3
2. 2	安保基本法案、来月15日までに提出。首相、与党との調整指示	2. 3	YM1
2. 4	行政改革、反攻へ布石。自民、行革本部に専門委新設。トップに閣僚経験者。首相けん制	2. 4	NM2
2. 4	小泉内閣支持率、急落53%。女性反発24ポイント下げ。田中氏更迭、不支持68%。毎日新聞世論調査	2. 4	MM1,3
2. 4	内閣支持、49%に急落。不支持は倍増36%。外相更迭、7割が批判的。朝日新聞世論調査	2. 4	AM1,2,3
2. 4	公務員は政治家から不当な陳情受けるな。首相指示	2. 4	YE2
2. 4	施政方針演説、小泉首相、守りの姿勢目立つ。経済低迷や外相更迭劇。訴えに明快さ欠く	2. 4	NE
			AE1,2,3 YE2
2. 4	政府系金融見直し、首相が期限。「年内」実現、壁ぐるり。抵抗勢力、支持落ち勢い。続く不況、「公」に期待大	2. 5	AM11
2. 4	国債30兆円枠「弾力的に」64%。経団連役員向け調査	2. 5	NM5
2. 4	首相施政方針、経済運営、綱渡りに。危機回避の具体策欠く	2. 5	MM9
2. 5	更迭劇、小泉政権に「傷」。支持21ポイント急降下。発足以来最低、58%。改革推進危うく。全国世論調査	2. 5	TM1
2. 5	道路民営化機関、首相方針に反発。自民合同会議	2. 5	NE2
2. 5	医療費3割負担、首相、来年4月指示	2. 5	NE1 AE2
2. 5	日本経済は「時間切れ」。「大恐慌期の米国並みに」。米誌特集、小泉改革「成果なし」	2. 6	TE1
2. 6	小泉首相、改革展望示せず。衆院代表質問、与野党とも説明要求	2. 7	AM2
2. 6	道路公団改革の第三者機関人事、「国会同意不要」で決着へ	2. 7	MM1,5
			AM2 NM2
2. 6	医療費3割負担問題/難航、首相、改革貫く試金石に。『来年4月』実施譲らず。加勢、勢いづく厚生族、抵抗戦線が拡大(核心)	2. 7	TM3
2. 6	やりとりにトゲ・30兆円枠とも距離。「対小泉色」強める民主。首相周辺「衝撃だ」	2. 7	AM4
2. 7	道路公団第三者機関人事、国会同意求めず	2. 7	NE2 AE1
2. 7	道路公団民営化委、「国会同意不要」古賀氏も了承。影響力狙う「族」の条件。「公正な人選」など3点	2. 8	YM4 TM2
2. 7	首相、族議員、厚労省、3割負担、三すくみ。政府、独自法案も	2. 8	YM2 AM2
2. 7	政管健保、保険料上げ幅圧縮。首相、3割負担へ理解狙う	2. 8	YM2
2. 8	医療費3割負担、厚労省案軸に調整を。厚労相、首相の姿勢に不快感	2. 8	NE2 AE2
2. 8	首相、デフレ対策着手へ。金融緩和・税制改正軸に。「構造改革」正念場に	2. 9	AM1
2.12	痛み先行あえて首相貫く。『3割負担』は象徴的な意味。抜本改革待ったなし	2.12	TM2,3
2.12	首相、税制抜本改革に意欲。衆院予算委、課税最低限下げ強調	2.12	TE1
2.12	食品安全部門統合へ。首相答弁、狂牛病対応、縦割り批判で	2.12	YE1
2.12	医療抜本改革、法案、来年から順次提出。予算委で首相表明。2002年度中に基本方針	2.13	TM1
2.13	小泉内閣支持率急落55%。景気対策、65%が求める改革と両立正念場。日本経済新聞世論調査	2.13	NM1,2,3
2.13	首相「比例復活は違憲」。選挙制度改革の必要強調。衆院予算委	2.13	TE4
2.13	金融安定化へ抜本策。首相、デフレ対策指示、月内にも具体案	2.14	NM1
2.13	財政出動には否定的な見解。小泉首相	2.14	AM2 MM1
2.13	鈴木宗男氏のODAへの影響、首相、調査に前向き。衆院予算委	2.14	TM1 MM2
2.14	医療費3割負担の攻防、自民に歩み寄りムード。政策関与維持へ首相と衝突回避	2.14	NM2
2.14	銀行特別検査を厳格化。不良債権処理、首相、金融相に指示。公的資金の注入視野	2.15	NM1,3
			AM1

2002年

2.15	「第三者機関」設置法案提出。首相・道路族、新規路線で対立再燃も	2.16 YM2 AM4
2.15	内閣支持率46.5%。下げ幅21.3ポイント。時事世論調査	2.16 TM1
2.19	こんなにある！小泉首相の“官邸主導機関”。公的・私的いろいろと（特集ワイド）	2.19 ME4
2.21	不良債権実質簿価買い取り、首相が慎重姿勢	2.21 NE1
2.22	政治家の陳情公開を。首相、党にルール検討指示	2.23 TM2 YM1
2.24	デフレ対策、妙案作り苦慮。官邸／金融安定化策、手探り。日銀動き鈍く。与党／具体論行き詰まる。「実質簿価」尻すぼみに	2.24 NM2 MM1
2.26	内閣支持率53%。「改革できぬ」過半数。読売新聞世論調査	2.26 YM1,2
2.26	郵政懇、職員・郵便局の合理化も検討	2.26 AM2
2.26	財政出動議論、デフレ対策、第2弾焦点。首相ら責任問題も	2.27 AM2,3 NM3
2.27	不良債権処理、公的資金を視野に。総合デフレ対策、政府決定。銀行特別検査、3月に完了。首相、追加策を検討	2.28 NM1,5 AM1 MM2,3
2.27	与党、デフレ追加策で財政出動促す。国債30兆円枠が壁	2.28 NM2 TM2
2.28	首相公選制、3モデル出そろそろ。首相私的懇談会、権限強化案を討論	3.1 MM5
3.1	医療抜本改革、首相のこだわり。「3割負担」ショック療法に。財政改善は限定的。効果・目的の説明不足（核心）	3.2 TM3
3.3	内閣支持率44%、不支持40%。女性は不支持が上回る。自民支持率も下落28%。朝日新聞世論調査	3.3 AM1
3.4	小泉内閣支持53.5%と最悪。鈴木氏疑惑深まれば「議員辞職を」80%。共同通信社緊急電話世論調査	3.4 TM1
3.4	小泉内閣支持率49%。田中氏の批判影響し続落。毎日新聞世論調査	3.4 MM1
3.4	外務省報告書発表。「鈴木氏と異常な関係」。北方四島支援事業、深い関与認める。首相、人事刷新を指示	3.4 NE1 TE2 AE1,2 YE3
3.5	首相、4島支援見直し指摘。2002年度予算の執行再検討	3.6 NM2
3.7	2002年度予算成立、メドたったが...小泉政権、難題ゾロゾロ。鈴木氏喚問後も辞職要求は必至。加藤紘一氏事務所前代表の疑惑も	3.7 AM4
3.7	補正の編成、首相が否定	3.7 AE1
3.8	あっせん利得処罰法、首相、改正に意欲。私設秘書に対象拡大など	3.9 NM2
3.9	国委託の検査、原則は民間で。首相が改革指示	3.10 AM4
3.10	小泉内閣支持率低下を分析。政策に不信感。働き盛り世代離れる。不況対策に厳しい見方	3.10 AM4
3.11	道路公団民営化／第三者機関、委員枠は7。人選、水面下の攻防。過半数どちらに／「改革派」国鉄再建経験者も。国交省側、道路通教授らの名。国交省の危機感、プール制死守へ理論武装（時時刻刻）	3.11 AM3
3.11	郵貯・簡保の民営化案、首相、地域分割含め検討指示	3.11 NM1
3.11	税制改正、与党と同床異夢。景気浮揚巡り溝は埋まらず	3.11 NM2
3.12	「首相は司法改革に消極的」。本部長を務める顧問会議、有識者らが相次いで批判	3.13 MM5
3.13	政策決定「内閣に一元化」、自民戦略委「3原則」提言。与党事前承認廃止。事務次官会議廃止。政と官の接触制限	3.14 AM1,2,4 TM1 NM1
3.14	国家戦略本部ビジョン報告、自民内から反発噴出。党内事前了承経ず首相提出	3.15 YM4
3.15	英国モデル、根付くか。政策決定「小泉3原則」。政官の関係、異なる土壌	3.15 AM4
3.15	特殊法人改革、役員退職金3割カット。給与も1割、年20億円減。閣議決定	3.15 TE2 AE2NE1
3.15	構造改革へ特区。都市再生や起業促進。諮問会議で一致	3.16 NM2 AM3 MM1
3.15	内閣支持、続落43.5%。不支持は37.7%に増。時事通信世論調査	3.16 TM2
3.18	2003年度以降の予算編成、首相「30兆円枠、柔軟に」	3.19 NM5 AM3 TM3
3.19	小泉首相、公益法人の抜本改革指示	3.19 NE2

2002年

- 3.20 国債30兆円枠、2003年度は柔軟姿勢。経済運営に機動性。2002年度での突破に含み 3.20 NM5
- 3.20 国家ビジョン策定委最終報告。首相、合意形成を指示。党権限弱体化に強い反発 3.21 YM4
- 3.21 メディア規制3法案、首相「今国会成立を」。内閣改造は明確に否定 3.22 MM1 AM1
- 3.21 有事法制、首相「テロにも対応」。法案作り大詰め。「心臓部」先行、細部は不透明。 3.22 AM1,2
- 3.22 税制改革「活力」生むか / 諮問会議VS政府税調、デフレ対策減税で対立。財源問題踏み込まず、30兆円枠が論戦に制約。検証・レーガン・サッチャー税制 / 英米はこう変えた。累進緩和やる気刺激 TM7
- 3.23 個人情報保護法案、首相、今国会成立に意欲。政府・与党、思惑にズレ 3.23 AM4
- 3.24 構造改革特区、起業など5-10種。規制緩和や税優遇。経財相検討 3.25 NM3
- 3.26 内閣支持50.6%。2か月連続減。読売新聞世論調査 3.26 YM1
- 3.26 小泉内閣支持率、最低の48%に。鈴木氏問題など響く。自民に投票拒否29%。共産抜きトップ、党支持率も低下。日経新聞世論調査 3.26 NM1,2
- 3.27 首相、今国会で献金規制強化。公共事業受注企業が対象 3.28 TM2 AM1
- 3.28 ポスト10万本の義務見直し指示。総務省事務次官に首相 AM11
- 3.29 民間主導で都市再生。特別措置法きょう成立。業者に金融支援も 3.29 MM5
- 3.29 規制改革、厚生族に配慮。医療分野、首相が譲歩。計画改定閣議決定 3.29 AE2
- 3.29 小泉内閣支持、最低44.8%。自民支持も急落、9.6ポイント減。全国世論調査 3.30 TM1
- 3.30 国債30兆円枠、首相「2003年度柔軟に」。政党支部への献金見直し 3.31 NM1 MM1 AM3
- 3.31 「政官業」関係見直し。首相の意欲空回り。対策案次々、与党難色で進まず 3.31 YM4 TM1
- 3.31 暮らし、あすからこう変わる。規制緩和に小泉色。病院の“腕”PR解禁。自己責任や痛みも。預金にらみ動く金利 3.31 AM3
- 4. 1 小泉改革、空白期作るな。政府活動リストラ。年金改革にも着手必要。田中直毅・21世紀政策研理事長（経済教室） 4. 1 NM27
- 4. 1 諮問会議、税制改革の論点公表 / 開かれた議論重視。問題点明確化。国民の関心集める狙い 4. 1 NM7
- 4. 1 「小泉離れ」定着。無党派層が距離。内閣支持率、3ポイント減り46%。「加藤氏辞職を」87%、鈴木氏も90%。首相指導力に不信。毎日新聞世論調査 4. 1 MM1,3
- 4. 2 公益法人 / 抜本改革へ首相自ら乗り出せ（社説） 4. 2 YM3
- 4. 2 デフレ対策、与党が提言。首相に政策転換迫る。補正の必要性にじませ 4. 3 NM2
- 4. 2 2003年度に独立機関設置。首相、BSE問題報告書受けて指示 4. 3 NM38 AM1,3 MM3
- 4. 3 内閣不支持が逆転44%。支持40%まで低下。首相指導力に不満。基盤弱まり、政権岐路。朝日新聞世論調査 4. 3 AM1,2
- 4. 3 激論続く経財諮問会議。小泉首相、「読み替え不要」自ら反論。信託協会長、「主税局はアイガー北壁」 TM9
- 4. 4 道路公団民営化第三者機関、「人選は事前調整」。首相、道路族に「約束」 4. 5 TM1
- 4. 5 郵便事業改革、「ポスト10万本」が障壁に。首相と郵政族、民間参入めぐり攻防 4. 6 MM5
- 4. 6 郵政民営化、懇談会の夏の答申は具体策見送り。慎重論広がる 4. 6 AM1
- 4. 6 小泉改革、看板ぐらり。「郵政民営化」、抵抗強く関連法案難航。「懇談会テコ」が誤算に（時時刻刻） 4. 6 AM3
- 4. 8 郵政民営化禁止条項、首相、削除を見送り。「現行法でも改革可能」 4. 9 NM7
- 4. 9 郵政民営化、首相の姿勢後退？禁止規定削除を断念 4. 9 TE2 NE2
- 4. 9 民営化禁止条項削除方針は不変。郵政3事業で首相 4.10 TM2
- 4. 9 日本の景気後退、デフレ伴い異例。IMF、先進国を比較。構造改革の遅れ原因 4.10 NE2
- 4.10 混乱時の解散に含み。党首討議で首相。献金規制は姿勢後退 4.11 TM1 AM3
- 4.11 首相vs.「族」神経戦。郵政民営化論議、対立演出、あぶり出し。道路4公団民営化委、人選で横やり、骨抜きも 4.11 NM2

2002 年

- 4.11 (岐路の春/改革の足元で)郵政民営化へ「第3種・第4種」原則廃止。「割引制残して」切実。福祉関係団体、財政立ち行かない。通信教育業者、コスト10倍以上に
4.11 構造改革、「道路・郵便を優先」。首相、内閣改造に含み
4.12 郵便民間参入、首相と族議員の対立で法案迷走。利用者の視点忘れないで(経済部)
4.12 (拝啓 小泉首相殿/政権この一年を採点)小泉外交75点/草野厚・慶大教授。対中国、確かな理念に基づく戦略の提示を
4.15 石油公団廃止法案、「閣議決定通りに」。首相、修正指示へ
4.16 小泉内閣支持42%、不支持40%。女性の支持やや回復。朝日新聞世論調査
4.16 禁止条項の再検討指示。郵政民営化巡り首相
4.16 小泉改革待った。石油公団廃止法案、経産相見直し難色。郵政民営化禁止の削除、総務相「わからぬ」
4.16 首相、経済財政諮問会議で先行減税を否定。拙速な税制論議を懸念
4.16 郵便開放、なお霧中。公社関連法案、首相、提出を指示。自民、民営化を警戒。誰のための改革か。参入に障壁、寡占に思惑
4.16 石油公団、早期廃止を、首相指示。官邸と経産省を溝
4.16 金融庁の特別検査の結果、小泉首相が評価。経済財政諮問会議
4.17 榊原英資・前財務官に聞く/小泉政権は改革先送り。日本経済に米欧は失望
4.18 検証・有事法制/「小泉改革、安保分野では10年分に匹敵」。反転攻勢へ「封印」解除
4.18 信書便法案、首相、総務省に譲歩。信書定義なし。早期提出優先。郵政族からは不満も
4.19 (経済財政諮問会議/手探りの内閣主導-上-)対立と妥協/理念先行には限界
4.19 道路4公団、首相「将来は上場を」。完全民営化の意向表明
4.20 小泉改革、両輪空回り。郵政2法案、党部会、了承せず。公団民営化、抵抗受けて減速
4.20 首相、負担率の再引き上げ否定。医療改革法案審議入り
4.20 首相、譲れぬ郵政民営化。信書便法案、党了承なくても国会提出。26日にも閣議決定
4.21 小泉改革、大半「遅い」。40社「景気対策より先」。主要100社、朝日新聞調査
4.21 首相が靖国参拝。8月の見送り明言。中韓反発
4.22 内閣発足1年、「政権あと1年」4割。「小泉離れ」層、限界見抜く?朝日新聞世論調査
4.23 内閣支持5割切る。47.9%。不支持は40.9%。読売新聞世論調査
4.23 熱狂冷め、真贋問われる小泉内閣一年(社説)
4.23 小泉政権の1年、「評価しない」57%。支持42%、不支持39%。毎日新聞世論調査
4.23 郵政改革、政権かけ攻防。関連法案提出へ。国会、緊迫の場面も
4.24 道州制導入含め地方制度改革を。首相、自民に指示
4.24 先行減税実施、首相、今年度は慎重。財務相は前向き
4.25 小泉政権1年/「内輪の論理」に屈するな(社説)
4.25 郵政法案、与党、首相と綱引き本格化。民間参入、分離・先送り論。公保、提出了承。不快感にじむ
4.25 小泉政権あす発足1年。抜本処理・財政再建と経済再生、首相の指導力かすむ
4.25 (小泉政権1年-上-)成長の芽育てる構造改革/持続的な需要創出。経済の新陳代謝を促す。吉川洋・東京大学教授(経済教室)
4.25 デフレ対策、連休明け。郵政法案、首相、一体処理求める。与党党首会談
4.25 個人情報保護法案、首相、批判に反論。野党、廃案・修正求める。
4.25 首相の私的懇、首相公選制2案提示。大統領型と議院内閣制型
4.26 小泉内閣1年、「評価する」51%、「しない」47%、二分。「自民変わらず」7割。成果「とくにない」66%。読売新聞世論調査
4.26 (小泉政権1年-下-)縮小型改革、デフレ加速。儉約よりカネ活用。積極財政の意義見直せ。小野善康大阪大学教授(経済教室)
4.26 「政官透明化」欠落の改革案。新藤宗幸千葉大教授(論点)

2002年

4.26	検証、小泉構造改革/目立つ骨抜き、先送り。道路公団、第三者機関人選進まず。郵政民営化、信書便法案で族議員と対立。政策金融、廃止決定は住公だけ	4.26	YM11
4.26	政権発足1年、小泉改革、果実乏しく。特殊法人/「道路」「石油」正念場。不良債権/政府内、認識にずれ。デフレ/内需弱く、なお手探り	4.26	NM3
4.29	小泉首相の靖国参拝、中国主席「許せない」。今秋の首相訪中に影。予想超す反発、楽観論にクギ	4.30	NM2
5.1	先行減税、政府迷走。首相、官房長官は慎重。経済相と財務相、前向き	5.1	MM9
5.1	郵便民間参入、政令で可能に。小泉首相	5.2	NM1
5.2	民間郵便ポスト視察、小泉首相「立派じゃないか」、「あまり使われていない...」NZ首相	5.3	YM4
5.3	首相公選制、与野党とも慎重論大勢	5.3	AM1
5.3	内閣不支持、45%と逆転。支持43%『続投1年以内』8割。共同通信調査	5.3	TM1
5.3	小泉内閣失速、憲法論議に影	5.3	NM2
5.7	「憲法9条、おかしい点」、首相、改正は政治課題にせず	5.8	TM1
5.8	(小泉税制改革を探る-上-)前政府税調会長加藤寛氏/歳出つかず、国民にツケ。課税最低限引下げ論は消費税の逆進性「無視」。「財政再建」という言葉に踊らされちゃダメ。国民に「増税だけ」と思わせてはいけない	5.8	TM6
5.8	小泉改革の証拠見たい。オニール米財務長官	5.9	NE2
5.10	混迷深まる経済政策。諮問会議、首相の指導力見えず。連結納税制度、修正へ思惑交錯	5.10	AM11
5.13	郵政改革、本丸は財投制度。首相、英紙に述べる	5.13	YM4
5.13	活性化へ構造改革特区。25の行動計画明記。諮問会議中間とりまとめ。実現に税制の壁、財務省難色	5.14	NM5 TM9,13 AM11
5.13	“減税先行”にクギ。小泉首相、諮問会議で	5.14	MM2
5.13	個人情報保護法案、首相「修正検討を」。自民役員会、山崎幹事長に指示	5.14	MM2 AM1,2 NM38
5.14	郵政民営化で首相、具体像の提案、懇談会に指示	5.15	AM4 NM2
5.15	個人情報保護法案、首相が修正検討指示。混乱覚悟の「禁じ手」	5.15	AM4
5.16	自民、郵政法案容認へ。首相と人事にらみ妥協。「衆院通過」で調整。今国会成立は微妙	5.17	AM1,3 TM1 NM1,2
5.17	個人情報法案、首相の修正指示巡り審議。担当相「現法案が最善」	5.17	AE1
5.17	小泉首相、消費税引き上げを否定。『歳出カットを徹底』	5.18	TM3 NM5 AM2
5.18	内閣支持率4割切る。『不支持』が逆転。時事通信世論調査	5.18	TM3
5.20	内閣支持38%に下落。不支持は47%。朝日新聞世論調査	5.20	AM1
5.21	少子化対策見直し。9月めどに中間方針。厚労相に首相指示	5.21	AE1 NE1
5.21	首相、交付税大幅縮減を指示。地方への税源移譲で財務、総務相が対立	5.22	TM1 MM9
5.21	郵政法案審議入り。容認つかの間、自民硬化。今国会成立、再び不透明に	5.22	NM2
5.21	首相、郵政民営化に強気。信書便、認可要件で配慮も。修正なら自由化後退	5.22	NM3 TM1 YM1,4 AM3 MM5
5.23	「郵政関連法、必ず成立する」。郵政懇座長に小泉首相明言	5.24	MM5 TM2
5.24	地方交付税見直し指示。首相が総務省に。経済諮問会議議事要旨を公表	5.25	NM5
5.24	地方財源、首相「移譲3年内で」。財政諮問会議議事要旨公表。格差「当たり前」	5.25	AM4
5.26	小泉政権、柱のはずが...規制改革迷走。司令塔不在、「特区」権益争い	5.26	NM2
5.27	難民政策見直し検討。首相表明	5.28	YM2
5.28	内閣不支持48%。支持率42%、初の逆転。読売新聞世論調査	5.28	YM1,2,3
5.28	国家公務員給与の削減、首相「一つの課題」。経財相、諮問会議で検討	5.28	NE1
5.28	地方の自立、藩政の知恵に先例。税制改革で小泉節、全国市議会議長会に出席	5.29	AM4
5.29	行政の個人情報保護、法案修正「議論必要」。リスト問題で首相	5.29	YE1 TE1,2
5.29	「知的特区」検討を、首相提示。産学連携の拠点に	5.30	NM1

2002年

5.30	企業献金の規制強化、首相指示をたなざらし。自民反発、先送り濃厚	5.30 NM2
5.30	郵政法案審議入り。衆院総務委「民営化」議論、首相の出席、野党が要求	5.30 ME1 NE2 AE1
5.30	首相、「郵政」「健保」を優先。有事法制・個人情報保護「審議慎重に」	5.31 AM1 MM1 NM2 TM1
5.31	郵政法案修正、首相が柔軟姿勢。「日程きつい」会期延長も	6. 1 NM3 NM2
5.31	首相×自民道路族、対立再燃か。道路財源、一般財源化に反対。自民部会などが決議	6. 1 AM4 MM5
6. 3	小泉内閣、支持・不支持40%同率。男性は3ポイント逆転。毎日新聞世論調査	6. 3 MM1
6. 3	「年内景気悪化ない」、首相見通し	6. 4 AM9
6. 3	税制改革で活力。小泉首相、諮問会議メンバーと一致	6. 4 NM5
6. 3	経済活性化戦略、税制など具体論示せず。与党に配慮、かすむ官邸主導	6. 4 TM9
6. 4	小泉内閣、支持43%、不支持46%。郵政法案、賛成が過半数(日経新聞世論調査)	6. 4 NM1.3
6. 4	郵政法案審議入り。「民営化の一里塚、首相の願望」。総務相、衆院委で見解	6. 4 AE2 NE1
6. 5	財務相、先行減税で“突出”。政権失速回避へ先手。与党の不満抑え込み	6. 5 NM5
6. 5	地方への補助金、数兆円規模で削減へ。首相・経済閣僚一致。税源の一部移譲	6. 6 NM5
6. 5	外形課税導入で合意。法人税、2003年度、実効税率下げ。首相・経済閣僚	6. 6 AM1 YM1 TM1 MM1 NM1,5
6. 5	民営化・公社化「矛盾しない」。郵政法案で首相	6. 6 AM2
6. 6	首都機能移転に静観の考え強調。小泉首相	6. 6 AE2 ME1
6. 6	年内に「金融ビジョン」。不良債権処理へ促進策。首相が指示へ	6. 7 AM3
6. 6	道路整備、綱引き再燃。首相と族議員、人選問題で火花	6. 7 NM2
6. 6	首相、来年度増税せず。諮問会議議事要旨	6. 7 NM5
6. 7	税源移譲へ「工程表」。首相きょう諮問会議で指示	6. 7 NM1 MM2
6. 7	首相、税制改革の柱に。外形標準課税の導入。生前贈与の負担軽減。消費税の「益税」解消。所得税の控除見直し。きょう経済財政諮問会議で指示	6. 7 TM1
6. 7	補助金、4年で数兆削減。「概算要求」制度抜本見直し。首相きょう指示	6. 7 YM1
6. 7	道路特定財源見直し具体化。首相「来年度から」	6. 7 NE1
6. 7	税制改革、2006年度完了、首相指示。法人実効税率下げ。配偶者特別控除を縮小	6. 8 NM1,5 MM1 AM1,2
6. 7	税収確保で活性化後退。首相、税制改革の方針指示。財務省主導に逆戻り	6. 8 NM3
6. 7	有事法制、今国会は困難。首相、自民「単独採決を回避」	6. 8 AM1
6. 7	地方補助金、数兆円削減へ。税制など5分野、首相が基本方針指示	6. 8 TM1,9 NM5
6. 7	教育・福祉の補助金削減。交付税も大幅縮小。改革方針、首相指示へ	6. 7 AE1
6.10	小泉首相、年度内の減税なお消極姿勢	6.10 AE2
6.10	非核三原則、首相「私の内閣は不変」。衆院委で集中審議、将来の堅持、明言せず	6.11 MM1,3,7 AM3
6.11	法人実効税率下げの財源、首相指示、迷走。消えた「歳出削減」。諮問会議、官主導に不満	6.11 NM5
6.11	道路公団改革に首相は信念を貫け(社説)	6.11 NM2
6.11	(視界開けぬ小泉改革 - 上 -)「政治の構造」見直し急務	6.11 NM1
6.11	郵政法案、「公社化後、制約せず」。首相、「一里塚」発言を修正	6.12 AM1,4 TM2 NM2
6.11	広告・チラシの配達開放。郵政法案首相意向。既存の宅配追認。不特定多数向け有力に。参入の意味薄れる民間、自由化拡大を期待	6.12 NM3
6.11	歳出抑制は状況みながら。外形標準課税慎重に。首相指示に反論、与党内で相次ぐ	6.12 NM2
6.11	外形課税導入、税率下げの手段でない。政府税調会長、首相指示に異論	6.12 NM5
6.12	(視界開けぬ小泉改革 - 下 -)活性化税制、官が封印	6.12 NM1
6.12	国民保護法制の早期策定を強調。首相、全国の知事に	6.12 NE2 ME5

小泉改革

2002 年

- | | | |
|------|---|---------------------------|
| 6.13 | 首相、先行減税を容認。デフレ対策、与党要望配慮し転換 | 6.14 TM1
AM1,2,11 MM2 |
| 6.14 | 税制改革 / 理念と具体案が合わない (社説) | 6.14 AM2 |
| 6.14 | 税制見直し基本方針、抵抗必至、実現どこまで。消費税、益税解消、与野党とも反発。財界、法人税下げ、強く要望 | 6.15 AM12 |
| 6.15 | (真説異説 / そこが聞きたい) 田中秀征氏 / 「小泉改革、実は官僚主導」。民の立場だったはず、政策、財務省の思うまま。デフレ対策尻すぼみ? 再び「小出し」の道歩む | 6.15 NM28 |
| 6.16 | 内閣支持率 34% に低下。時事通信社、6 月世論調査 | 6.16 TM2 |
| 6.18 | 前倒し減税でも改革路線は堅持。13 日諮問会議で首相が強調 | 6.19 NM5 |
| 6.19 | 「政官ルール」首相指示。実効性、省庁は冷ややか。官の「責任逃れ」はびこる恐れ。都合の悪いメモ、政治家は許さぬ | 6.19 YM2 |
| 6.20 | (税をただす) 検証 / 小泉改革。官主導、あせた「活力」。法人実効税率下げ、骨抜き、突如「外形課税」に。本音は先行減税、悩む財務相、活性化か財政規律か | 6.20 NM5 |
| 6.20 | 財界、首相に“反旗”。税制改革論議、指導力不足を危く | 6.21 TM8 |
| 6.21 | 一般歳出伸びゼロ。骨太方針、第 2 弾決定 | 6.22 NM1,4
MM1 TM1 AM3 |
| 6.23 | 背骨のない税制改革。竹中は企業減税、財務省は増税狙い。「減税案」は結局、外形課税に化けた。板挟みの塩川は持論曲げ頭下げた | 6.23 AM3 |
| 6.23 | 諮問会議 / 首相、あなたが議長だ (社説) | 6.23 AM2 |
| 6.23 | 献金規制強化、「実現できない」72%。改革に悲観 68%。小泉内閣支持率横ばい 37%。朝日新聞世論調査 | 6.24 AM1 |
| 6.24 | 医療法案、参院審議入り。医療費 3 割負担『将来にプラス』、首相答弁 | 6.25 TM2 YM2 |
| 6.25 | 小泉内閣支持 37%、「継続」は 16%。朝日新聞世論調査 | 6.25 AM4 |
| 6.25 | 内閣支持率横ばい 42.2%。読売新聞世論調査 | 6.25 YM2 |
| 6.25 | 道路公団民営化人選で首相批判、自民総務会で相次ぐ | 6.25 NE2 |
| 6.25 | 郵政法案首相指示、族議員、一斉反発。終盤国会の波乱要因に | 6.26 YM4 AM2 |
| 6.25 | 郵政 4 法案「修正せずに成立を」、首相、総務相に指示 | 6.26 AM1 |
| 6.25 | 補助金廃止案「10 月提出を」。地方分権推進会議に小泉首相が指示 | 6.26 MM2 YM4
AM4 |
| 6.27 | 郵政 4 法案、部分開放など検討。自民部会修正案、首相と調整、難航必至 | 6.28 AM2 NM1
MM5 |
| 6.28 | 首相 vs 自民。郵政公社法案、修正協議、接点なし。党側譲歩も首相が応じるかは不明。道路公団民営化、推進委“猪瀬ペース”、党は独自検討会、顧問に大物ずらり | 6.29 YM4 |
| 7. 1 | 郵政法案、首相「修正せぬ」。党と最終調整へ。答弁で対応方針 | 7. 1 AE1 NE2 |